

# 1. 一般会計

## (1) 収支の状況

平成25年度原村一般会計決算の状況は、歳入総額4,259,186千円に対して歳出総額3,710,398千円となり、差引差額は548,788千円でした。これを前年度と比較すると、歳入では41,804千円減、歳出では116,099千円減となりました。

住民一人当たり(26年3月末住民基本台帳人口7,852人)で見ると、歳入が542,433円、歳出が472,542円となります。

翌年度に繰り越すべき財源は12,987千円で、実質収支額は535,801千円の黒字、単年度収支額についても113,709千円の黒字となりました。また、財政調整基金への積立て・取崩しを加減した実質単年度収支額も116,305千円の黒字となりました。

## (2) 歳入の状況

歳入総額は昨年に比べて41,804千円(1.0%)減少しました。

区分	増減額	主な内容
・村税	△22,885千円	村民税25,189千円減、固定資産税1,211千円減、たばこ税3,404千円増
・地方交付税	10,088千円	特別交付税13,891千円増
・国支出金	101,134千円	地域の元気臨時交付金34,212千円新增 地域介護福祉空間整備事業補助金30,000千円新增
・財産収入	△27,177千円	基金利息の減
・繰入金	60,508千円	農業振興基金30,000千円、義務教育施設整備基金30,000千円
・繰越金	△157,434千円	

## (3) 歳出の状況

歳出総額は、昨年に比べて116,099千円(3.0%)減少しました。

区分	増減額	主な内容
・人件費	△20,784千円	職員給与・手当の減
・物件費	76,577千円	道路除雪委託料41,894千円増、地域防災計画見直8,862千円新增
・普通建設事業	△49,623千円	保育所給食棟用地・八ヶ岳自然文化園用地購入費67,147千円減 軽費老人ホーム施設整備事業37,000千円新增
・公債費	8,748千円	
・積立金	△119,248千円	財政調整基金100,000千円減、運用利息等の減

### ■ 普通会計の決算状況

一般会計に有線放送事業特別会計と農業者労働災害共済事業特別会計を加え、繰出金・繰入金等を調整した普通会計の決算規模は、歳入総額で4,269,897千円となり、前年度に比べて43,044千円の減額、歳出総額では3,710,726千円で122,582千円の減額となりました。

## ■ 財政指標の状況

財政硬直化の指標となる経常収支比率（臨時財政対策債を経常一般財源に加えて算出）は75.0%（2.0ポイント減）となりました。財政力指数は0.370で前年度の0.360を0.010ポイント上回りました。

一方、「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」（財政健全化法）による健全化判断比率については以下のとおりとなり、早期健全化基準には至っていません。

◆ 一般会計等（普通会計に相当する会計）を対象とする「実質赤字比率」、及び村の全ての会計（一般会計・特別会計・企業会計）を対象とする「連結実質赤字比率」については、ともに「ゼロ」となりました。

◆ 村の全ての会計の他一部事務組合（諏訪南行政事務組合・南諏衛生施設組合・諏訪中央病院組合・長野県市町村総合事務組合・南信地域町村交通災害共済事務組合・長野県市町村自治振興組合）及び広域連合（諏訪広域連合・長野県後期高齢者医療広域連合・長野県地方税滞納整理機構）を含めた公債費負担の割合を示す「実質公債費比率」は、6.2%（平成22・23・24年度の平均）となり、前年度の6.4%に対し0.2ポイント下回りました。

◆ 実質公債費比率のほかに原村土地開発公社・原村振興公社・第三セクターの有限会社縦の木を含めた将来にわたる実質的負債を指標化した「将来負担比率」については、村債等の将来負担額に対し基金等の充当可能財源が多いこともあり「ゼロ」となりました。

## 2. 特別会計

### （1）国民健康保険事業勘定特別会計

歳入決算額は1,063,121千円で、前年度に比べ22,444千円（2.4%）の増額、歳出決算額は940,600千円で、前年度に比べ18,434千円（1.9%）の減額となりました。平成24年度に引き続き税率改正をし、特別対策として一般会計から20,000千円のその他繰入を行ったため収支差引額は122,521千円となり、繰越金を差し引いた単年度収支は42,878千円の黒字でした。

平成20年度から始まった特定健診の受診率が34.9%（平成25年度末：中間報告）にとどまっているため、特定健診未受診者への勧奨はがきを送付しました。また、生活習慣病予防対策としての健康スタイルアップ教室、春に体操教室、秋にはウォーキング大会、エイズ予防講演会や診療所による健康相談を実施しました。今後も国保制度の趣旨普及を図るとともに保健予防活動の推進や保険税収納率の向上に努めてまいります。

### （2）国民健康保険直営診療施設勘定特別会計

歳入決算額は135,433千円で、前年度に比べ14,154千円（9.5%）の減額、歳出決算額は73,437千円で前年度に比べ19,682千円（21.1%）の大幅な減額となりました。収支差引額は61,995千円となり、繰越金を差し引いた単年度収支は5,529千円の黒字でした。

歳入は、生活習慣病・動脈硬化性疾患の診療を中心に外来収入が68,640千円（前年比100.3%）と安定しており、年間延べ患者数は11,881人（前年比97.5%）でした。

歳出では、看護師用電子カルテの購入と心電図の電子化を行い、カルテや検査データの電子媒体保存を進めました。

また、診療施設基金に10,318千円を積み立てました。

### (3) 有線放送事業特別会計

歳入決算額は36,147千円で、前年度に比べ3,607千円(13.7%)の減額、歳出決算額は27,028千円で、前年度に比べ10,635千円(28.2%)の大幅な減額となりました。収支差引額は9,119千円となり、繰越金を差し引いた単年度収支は4,906千円の黒字でした。

歳出は、サラダチャンネルの動画放送廃止に伴う担当職員やスタジオ設備保守費の削減により減少しています。また、ケーブルテレビ自主放送については、平成25年度に文字放送システムを拡張し、新しい内容での放送を開始しました。なお、音声告知放送については、センター装置の老朽化と受信端末の保有台数が減少したことから、機器更新等について検討を行っています。

### (4) 農業者労働災害共済事業特別会計

歳入決算額は1,650千円で、前年度に比べ31千円(1.9%)の増額、歳出決算額は386千円で、前年度に比べ306千円(44.2%)の減額となりました。収支差引額は1,264千円となり、繰越金を差し引いた単年度収支は337千円の黒字でした。

農労災は、加入者の方が農作業中に受けた農機具、農薬などによる負傷、疾病、障害、死亡などの人身事故について、その災害の程度に応じ共済見舞金を支給する制度です。

平成25年度は3件の事故が発生しました。死亡事故は発生しなかったものの、農業用機械による怪我が多く発生しました。また、高齢者の事故は増加傾向にあり今後も村広報や有線放送などでの呼びかけにより、事故防止に努めます。

### (6) 後期高齢者医療特別会計

歳入決算額は70,186千円で、前年度に比べ995千円(1.4%)の増額、歳出決算額は69,216千円で、前年度に比べ1,285千円(1.9%)の増額となりました。

平成25年度の保険料徴収率は99.9割、医療給付費は前年度比7.2割増の827,530千円でした。被保険者数は1,185人で1人当たりの医療費は755千円となり、県内77市町村中高い方から43番目でした。

## 3. 企業会計

### (1) 水道事業会計

収益的収入は154,701千円で、前年度に比べ17,222千円(10.0%)の減額、収益的支出は136,826千円で、1,042千円(0.8%)の増額となりました。一方、資本的収入は24,000千円で、前年度と同額です。資本的支出は58,986千円で、前年度比15,587千円(35.9%)の増額となりました。

資本的収入額が資本的支出額に不足する額34,986千円は、過年度分損益勘定留保資金等で補てんしました。

## (2) 下水道事業会計

収益的収入は351,404千円で、前年度に比べ15,871千円(4.3%)の減額、収益的支出は242,007千円で、前年度に比べ7,531千円(3.0%)の減額となりました。資本的収入は6,953千円で、前年度に比べ895千円(14.8%)の増額、資本的支出は230,382千円で、前年度に比べ12,532千円(5.8%)の増額となりました。なお、資本的収入額が資本的支出額に不足する額223,329千円は、当年度分損益勘定留保資金等で補てんしました。